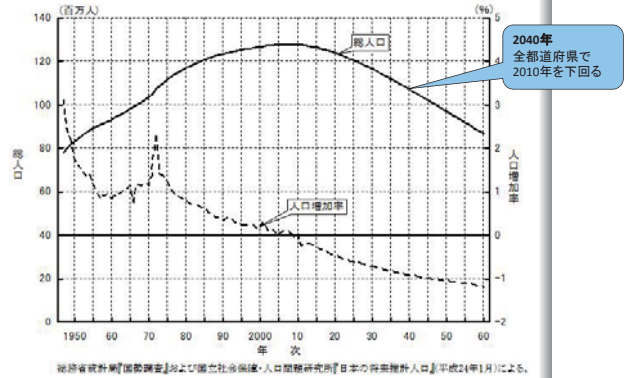


奈良県における 介護保険施設、訪問看護サービスの 現状から推測した看護師の需要予測



修士課程2年
高橋 美雪

図1-2 総人口、人口増加率の現状および将来推計 1947~2060年

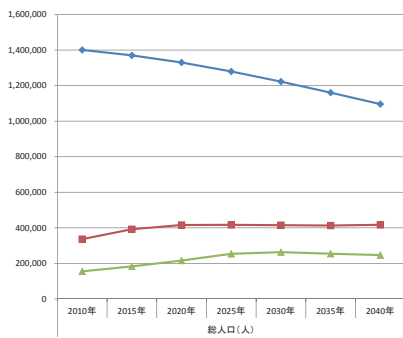


2040年
全都道府県で
2010年を下回る

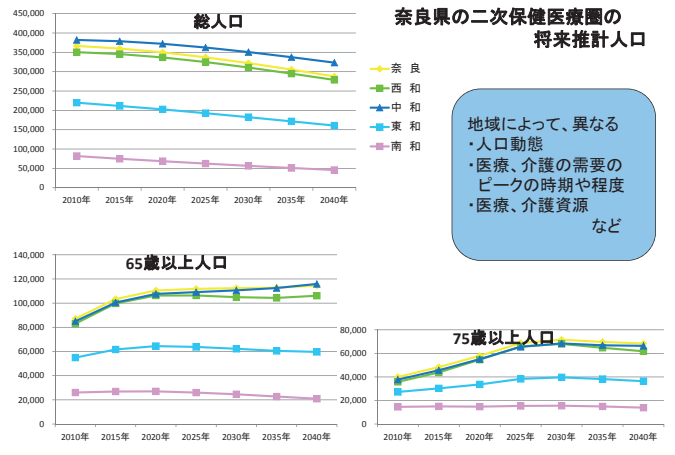
総務省統計局『国勢調査』および国立社会保障・人口問題研究所『日本の将来推計人口』(平成24年1月)による。

国立社会保障・人口問題研究所

奈良県の高齢者人口 2010年 約33万人(高齢化率23.8%)

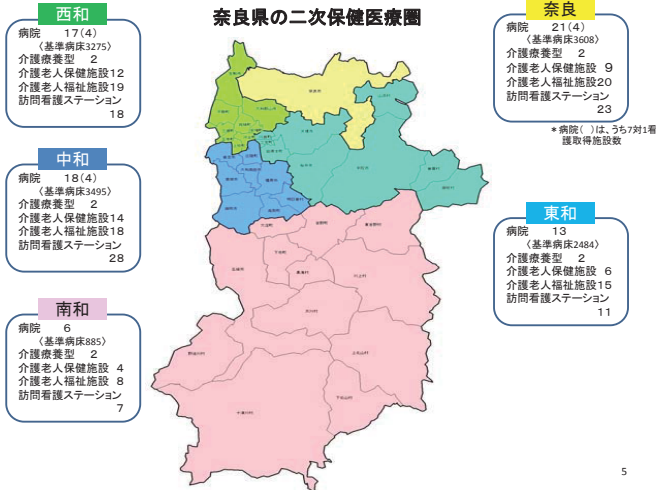


奈良県の二次保健医療圏の 将来推計人口

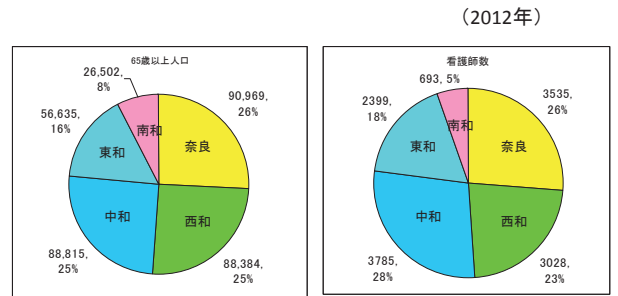


地域によって、異なる
・人口動態
・医療、介護の需要の
ピークの時期や程度
・医療、介護資源
など

奈良県の二次保健医療圏



二次保健医療圏の 高齢者人口と看護師数



平成23年(2011年)の病院の推計入院患者数から2040年までの入院患者数を算定

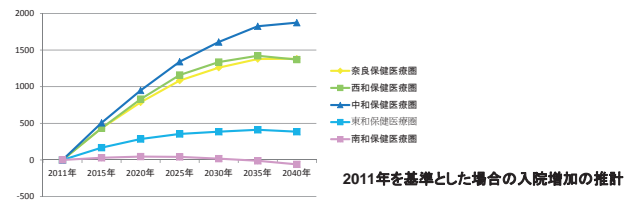
奈良保健医療圏	年齢	2011年		推計入院患者						
		推計入院患者	%	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	
奈良保健医療圏	65~74歳	46,178	600	1.3	715	684	560	530	561	599
	75~84歳	29,961	900	3	1013	1180	1391	1334	1101	1057
	85歳以上	10,912	600	5.5	805	1023	1233	1496	1816	1826
計		87,051	2100		2833	2887	3184	3380	3478	3482
2011年を基準とした場合の入院増加の推計				0	433	787	1084	1280	1378	1382

同様に他の医療圏も算定

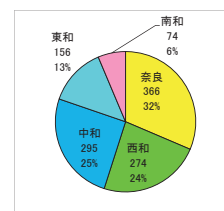
2011年を基準とした場合の入院増加の推計

医療圏	2011年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
奈良保健医療圏	0	433	787	1084	1280	1378	1382
西和保健医療圏	0	434	830	1159	1338	1422	1370
中和保健医療圏	0	507	849	1341	1810	1825	1874
東和保健医療圏	0	188	288	355	388	412	388
南和保健医療圏	0	30	46	42	18	-11	-80
計	0	1572	2898	3981	4810	5026	4852

*南和保健医療圏
圏内への推計流入患者
30.2%
圏外への推計流出患者
58.9%



2011年を基準とした場合の入院増加の推計



奈良県の一般診療所数(2011年)

医療圏	総数	医療保険等による在宅サービスを実施		介護保険による在宅サービスを実施	
		施設数	%	施設数	%
奈良	366	157	42.9	43	11.7
西和	274	129	47.1	30	10.9
中和	295	138	46.8	43	14.6
東和	156	76	48.7	26	16.7
南和	74	48	64.9	17	23.0

出現率＝要介護(要支援)認定者数÷高齢者数

*第1号被保険者のみ

二次医療圏	年齢階級	高齢者数 2012年	要介護(要支援)認定者数 2012年	出現率%
奈良保健医療圏	65～74歳	4529	1677	3.3
	75～84歳	3109	1318	30.9
	85歳以上	1157		
計	9096	1506		
西和保健医療圏	65～74歳	4972	1974	4
	75～84歳	2803	1257	32.5
	85歳以上	1062		
計	8834	1451		
中和保健医療圏	65～74歳	4566	1937	4
	75～84歳	2927	1224	30.4
	85歳以上	1092		
計	8815	1418		
東和保健医療圏	65～74歳	2808	1263	4.5
	75～84歳	2051	906	31.7
	85歳以上	954		
計	5683	1032		
南和保健医療圏	65～74歳	1138	566	5.1
	75～84歳	1057	522	34
	85歳以上	478		
計	2652	579		
奈良県	65～74歳	18580	7617	4.1
	75～84歳	11904	5229	31.6
	85歳以上	4645		
計	35108	9908	17.1	

基本台帳に基づく人口

高齢者数×出現率 → 要介護(要支援)認定者数推計

医療圏	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
奈良	17089	19948	22921	23728	23221	22924
西和	16485	19827	23034	23682	22632	21844
中和	16073	18854	21674	22482	22148	22167
東和	11011	12052	13298	13887	13108	12577
南和	5998	5645	5772	5755	5473	5088
奈良県	66354	76324	86699	89145	86584	84608

介護保険施設利用可能者(要介護認定者)の算出

医療圏	要介護(要支援)認定者数(2012年)内訳				要介護(%)
	第1号被保険者	要支援	要介護	要介護(%)	
奈良保健医療圏	15060	4869	10191	67.7	
西和保健医療圏	14551	4265	10286	70.7	
中和保健医療圏	14180	4673	9507	67	
東和保健医療圏	10324	3555	6769	65.6	
南和保健医療圏	5793	1436	4357	75.2	
奈良県	59908	18798	41110	68.6	

医療圏	要介護(要支援)認定者数×要介護(%)					
	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
奈良保健医療圏	11621	13563	15586	16136	15790	15599
西和保健医療圏	11704	14077	16354	16743	16069	15509
中和保健医療圏	10769	12632	14522	15070	14840	14852
東和保健医療圏	7267	7954	8777	8987	8652	8301
南和保健医療圏	4272	4234	4328	4316	4105	3815
奈良県	45633	52460	59568	61232	59456	58072

要介護者の施設入所状況(2012年末)

医療圏	要介護(1～5)認定者数	介護老人福祉施設			介護老人保健施設			介護療養型医療施設			施設入所者総数	要介護者～入所者	待機者数
		定員	5013	定員	3945	定員	813	定員	2,279	7,912			
奈良	10,191	1,235	817	227	2,279	7,912	5,956	172	16	3,741	4,983	-152	2894
西和	10,286	1,277	884	269	2,430	7,856	9,724	148	0				
中和	9,507	1,387	1,084	139	2,610	6,897	6,088	131	10				
東和	6,769	1,070	524	102	1,696	5,073	3,045	68	4				
南和	4,357	684	341	66	1,091	3,266	1,409	84	24				
奈良県	41,110	5,653	3,650	803	10,106	31,004	25,223	603	54				

医療圏	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	施設入所者総数	入所者/認定者 (%)
奈良	12.1	8	2.2	22.3	22.3
西和	12.4	8.6	2.6	23.6	23.6
中和	14.6	11.4	1.5	27.5	27.5
東和	15.8	7.7	1.5	25.0	25.0
南和	15.7	7.8	1.5	25.0	25.0
奈良県	14.12	8.7	1.88	24.7	24.7

- 県内の介護保険施設に入所している高齢者は要介護認定者の約25%
- 待機者数は2.5倍
- 介護老人保健施設と療養型医療施設のサービスに大きな差はない
- 今後、療養型医療施設の整備は計画されていない(施設、病床は減少傾向)

要介護認定者のうち25%の入所を維持しようとすると...

要介護認定者の15%が介護老人福祉施設、10%が介護老人保健施設(うち療養型医療施設含む)を利用した場合

医療圏	福祉施設15%	保健施設10%(-療養型)	2012年						
			増(累計)	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
奈良	福祉施設15%	増(累計)	0	502	793	1097	1179		
	保健施設10%(-療養型)	増(累計)	0	92	286	489	544		
西和	福祉施設15%	増(累計)	0	455	811	1152	1210		
	保健施設10%(-療養型)	増(累計)	0	-	95	322	361		
中和	福祉施設15%	増(累計)	0	164	444	727	810		
	保健施設10%(-療養型)	増(累計)	0	-	-	151	206		
東和	福祉施設15%	増(累計)	0	70	194	222			
	保健施設10%(-療養型)	増(累計)	0	89	157	240	259		
南和	福祉施設15%	増(累計)	0	-	-	-	-		
	保健施設10%(-療養型)	増(累計)	0	-	-	-	-		

●2030年までに少なくとも48の介護保険施設と220人の看護師の増が必要になる

施設数推計

施設:130床規模(51床～130床:看護師3名以上)

医療圏	介護老人福祉施設(15%)	2012年末現在定数	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
奈良	施設数	20	0	4	7	9	10	
西和	施設数	19	0	4	7	9	10	
中和	施設数	18	0	2	4	6	7	
東和	施設数	15	0	1	2	2	2	
南和	施設数	8	0	-	-	-	-	
計	施設数	90	0	10	19	26	29	

*2030年～待機者対応可

施設:80床規模

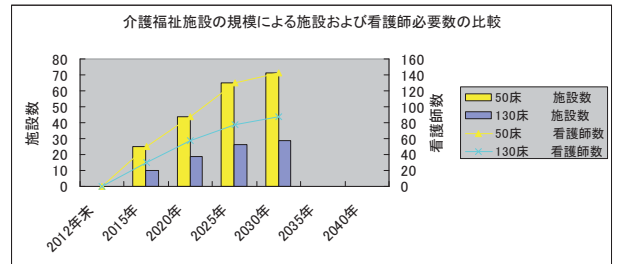
医療圏	介護老人保健施設(10%)	2012年末現在定数	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
奈良	施設数	9	0	2	4	7	7	
西和	施設数	12	0	2	4	5	5	
中和	施設数	14	0	-	-	2	3	
東和	施設数	6	0	2	2	3	4	
南和	施設数	4	0	-	-	-	-	
計	施設数	45	0	4	8	17	19	

*2030年～待機者対応可

補足

○自宅(家族)にできるだけ近距離
○高齢者の尊厳保持の観点から個室化を推進 等
ニーズと管理上から

現在、新設されている施設は50床規模



○31～50床:看護師2名以上

介護保険施設の整備が不可能な場合...在宅でのサービス需要が増加

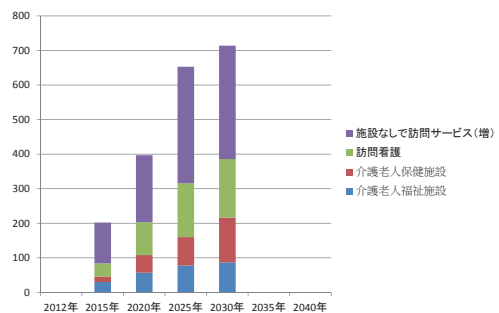
施設	入所者数	2012年末現在定数	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
介護老人福祉施設(15%)	入所者数	5813(80)	0	1121(10)	2118(19)	3170(26)	3421(29)	
介護老人保健施設(10%)	入所者数	3945(45)	0	181(4)	538(8)	1202(17)	1370(19)	
計	入所者数	9758(125)	0	1302(14)	2656(27)	4372(43)	4791(48)	

施設入所者(増減分)を訪問看護サービスにした場合に必要となる看護師数(入所者数×0.8)

訪問看護ステーション利用者推計

要介護(要支援)認定者数	2010年	2011年	2012年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
要介護(要支援)認定者数	54340	56484	59908	66354	76324	86699	89145	86584	84608
利用者数(介護受給者のみ)	2781	2895	3055	3384	3893	4422	4546	4416	4315
看護職員数	333	333	347	385	442	503	517	502	490
利用者/看護師数	8.4	8.7	8.8	以降、8.8で仮算定					

介護保険施設・訪問看護ステーションに従事する看護師需要の推計



奈良県の看護師・准看護師の従事状況

業務に従事する場所(実人員)

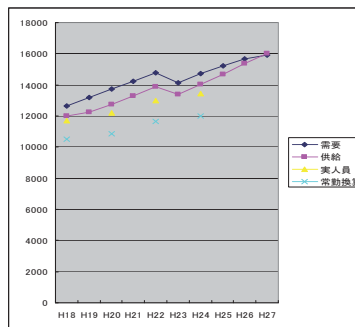
	総数	病院	診療所		訪問看護ステーション		介護保険施設等			
			有床	無床	管理者	従事者	介護老人保健施設	指定介護老人福祉施設	居宅サービス事業所	居宅介護支援事業所
2010年	13000	8839	281	1832	72	344	428	378	296	22
2012年	13440	9389	243	1684	69	368	461	323	366	22
増減	440	550	-38	-148	-3	22	33	-55	70	0

業務に従事する場所(常勤換算)

	総数	病院	診療所		訪問看護ステーション		介護保険施設等			
			有床	無床	管理者	従事者	介護老人保健施設	指定介護老人福祉施設	居宅サービス事業所	居宅介護支援事業所
2010年	11660.8	8440.7	239.3	1314.8	71.6	261	359.6	318.8	184.7	15.2
2012年	11982.7	8940.7	204.6	1153.1	68.5	278.4	386	272.2	216.8	16.6
増減	321.9	500	-34.7	-161.7	-3.1	17.4	26.4	-46.6	32.1	1.4

17

第6～7次看護職員需給見通し(奈良県)



- H27年に供給が需要を上回るとされた
- ↓
- 県外就職率1位
- 県立病院の拡大
- 地域包括ケアシステムの構築

18

厚生労働省「第六次・七次看護職員需給見通しに関する検討会」報告書をもとに作成

考察

- 医療圏により、高齢者人口が増加する高齢化と高齢者人口も減少していく過疎化が進んでいく地域がある。
- 基準病床規制から医療サービスの必要な高齢者が病院から施設や在宅に早期に移行せざるを得なくなる。
- 医療・介護サービスの必要な高齢者が地域に増加していくことにより、施設や訪問看護サービスの需要が増大し、施設の増数と看護職の増員が必要になる。
- 第7次看護職員需給見通しでは奈良県は2015年に需給が均衡するとされていたが、今後、看護サービスを維持し続けるためには見直しが必要である。

19

- 地域別将来推計人口や介護保険受給者数の推計に基づいた細やかな需要予測と対策が必要である。
- 医療・介護資源の現状を地域ごとに分析し、その地域のニーズに合った医療・介護を提供するための人的・物的資源の投入が必要である。
- 本研究は2011～2012年現在の二次医療圏、年齢階級区分で報告されているデータで医療サービスや利用状況をそのまま将来に推移すると仮定して試算している。また、具体的な生活背景(世帯人員、交通機関等)による影響は大きいと考えるが今回は加味していない。今後、最新のデータを基に、定期的に推計の見直しと妥当性のチェックが必要である。

20